

図書目録等の成人向け資料と研究素材としての児童向け図書等が中心で、特に後者については、同一テーマの著者別、訳者別等に収集を行った。また、本年度話題になった絵本、物語の収集も行った。

(5) 逐次刊行物の収集と整備

各分野の調査研究に新聞・雑誌の資料的価値が重要視され、その利用が年々増加するなかで、利用者のニーズに応えるべく学術誌10種を追加収集し、一層資料の充実と整備を図った。

〔表1〕昭和62年度に受入れた新聞・雑誌は次のとおりである。

区 分	購 入	寄 贈	計
新 聞	15 種	48 種	63 種
雑 誌	221	700	921
計	236	748	984

また、協力事業の一環として、新たに県内公共図書館の購入雑誌の現状を調査し「福島県公共図書館現行購入雑誌一覧」を作成し、県内各公共図書館に配布した。

新聞については、汚・破損防止のため地元紙のマイクロフィルム化を行った。

また、郷土関係連載記事のクリッピングを合冊整理し、利用の便を図った。

〔表2〕資料の受入整理状況

昭和62年度

区 分	購 入	寄贈	編入	管理換	計	
館 内	一般図書	5,833	4,498	164	-	10,495
	（児図研）*	390	1	-	-	391
	児童図書（児図研）	423	-	34	-	457
	児童図書（児童室）	721	235	-	-	956
郷土資料	898	3,633	227	-	4,758	
館 外	一般図書	1,827	451	-	-	2,278
	児童図書	2,819	1,012	-	-	3,831
計	12,911	9,830	425	-	23,166	

*児図研=児童図書研究室

2 蔵書目録の刊行

本年度は、昭和60年4月から61年3月までに受入れた一般図書資料約11,200冊を収録した一般資料の『増加図書目録・昭和60年度』を刊行した。

また、各方面からその刊行が待望されていた『福島県立図書館雑誌・新聞目録』を発刊した。この目録は、昭和62年12月末現在当館が所蔵する雑誌・新聞計2,916タイトルを収録

したものである。

直接来館できない利用者=県民の便に、またサービス・ネットワークの整備充実の一環に、大いに活用されることを期待して、市町村立図書館、公民館図書室等の読書関係施設に配布した。

第3節 館内奉仕

1 調査相談

「福島県立図書館調査相談業務規程」にその範囲を定め、図書館資料の検索、参考文献の紹介、専門機関等についての情報提供など、利用についての協力を行った。

これは、来館した利用者からの依頼と、電話、文書による依頼をうけ、各主題によって、郷土、社会、人文、自然、逐次刊行物、児童の各コーナーが調査し、回答をするものである。

今年度の調査件数は次のとおりである。

〔表3〕記録された参考質問の分析

(単位:件)

区分	郷土	一 般			逐次刊行物	児童	計
		人文	社会	自然			
口頭	811	321	445	388	709	212	2,886
電話	782	180	286	113	307	75	1,743
文書	149	16	9	8	2	4	188
計	1,742	517	740	509	1,018	291	4,817
		1,766					

2 館内閲覧

郷土資料、一般資料、参考図書、新聞、雑誌、特許公報類など、約10万冊を公開し、利用に供した。

また、利用の便を図るため、次の閲覧目録や備えている。

- ・カード目録～書名、著者名、分類
 - ・冊子目録～主題別、郷土、文庫、増加図書
- (自由閲覧別のため館内閲覧の利用統計はない。)

3 館外個人貸出

時間的余裕をもてない人々が、自宅等でゆっくり調査・研究(読書)に役立てるため、個人貸出を行った。

いつでも、どこでも利用できるように、一部資料(参考図書、貴重図書など)を除き、ほとんどの資料を貸出の対象としている。本年度の利用は次のとおりである。

〔表4〕館外個人貸出利用者数

区 分	人 員	構 成 比
勤 め 人	8,637	37.7%
自 家 営 業	1,111	4.9